



IGC

No. 11

事務局ニュース

第29回IGC事務局

電話：0298-54-3627
ファクス：0298-54-3629

アンケート回収数 2,899 通 (8月15日現在)

——最終集計は9月30日

ファーストサーキュラーにはさみ込まれたアンケートに対する回答は、締切日の7月15日には1,860通でしたが、その後7月末日にはおよそ倍の2,561通、8月15日現在で2,899通に達しました。図は回収の状況を前々回パリで開かれたIGC-80のときの応募傾向と比較して示したグラフです。

パリでは、締切日時点で2,279通の応募が、その後の2ヶ月間にほぼ倍の4,607通となり、セカンドサーキュラー発送までに合計5,940通になりました。実際の会議に参加した人はその82%に当たる4,883名でした。

IGC92京都の場合、締切日の応募者数はパリの約20%減ですが、その前後の回収傾向はパリの場合とよく似ています。最終的な参加者数については今後1ヵ月程の回収状況で判断することができると予測されます。

これらの状況から、第一次アンケートの最終集計は9月30日時点で行うことにし、これにもとづいて実行計画の手直しをしていくことになりました。

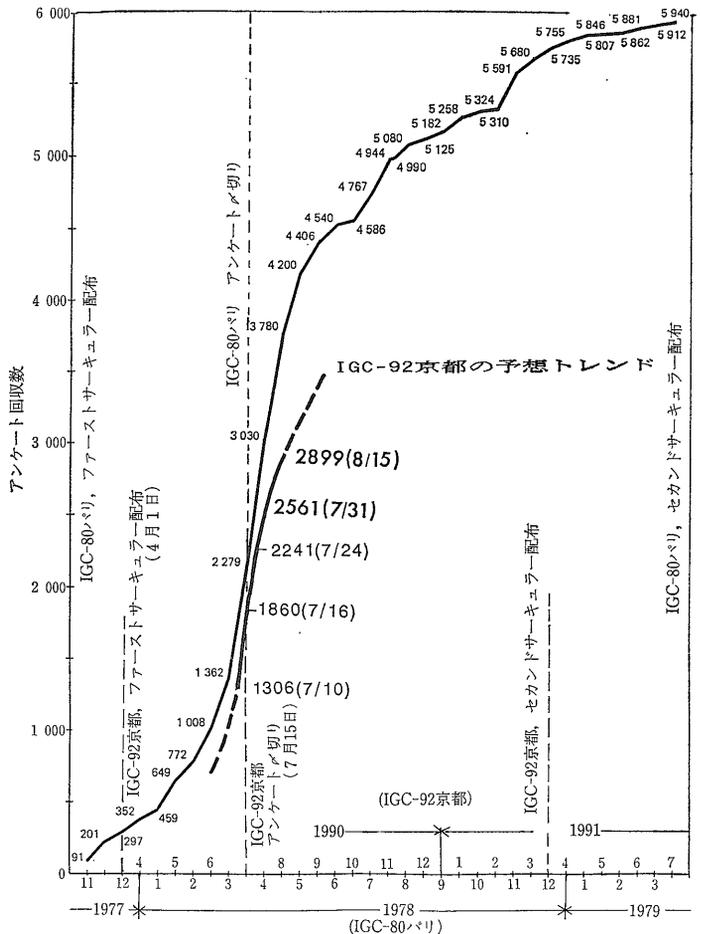
下記は地域別応募数です。7月後半になってから、特にアジア・ソ連・東欧・南欧からの回答が増えています。

- 欧州 592通 (352通)
- アジア 573通 (329通)
- 日本 535通 (429通)
- 北米 534通 (423通)
- ソ連 409通 (200通)
- アフリカ 95通 (40通)
- オセアニア 92通 (63通)
- 中南米 69通 (24通)

() 内は7月16日の集計

1990年9月号

アンケートの途中経過を一見すると「第四紀環境問題」、「鉱物資源」、「太洋と大陸地殻の進化」、「西太平洋のテクトニクス」、「堆積盆解析」等のテーマに多数の応募があることが目立ちます。この傾向は巡検にも現われ、これからの地質学の課題をよく反映しているように思われます。



ファーストサーキュラーに対する回答数